

# 昭和58年度 地質調査所の出版物

## 資料室

Publication Office & Library

- ・ 1 : 500,000地質図幅  
網走
- ・ 1 : 200,000 地質図幅  
千葉, 紋別, 盛岡
- ・ 1 : 50,000 地質図幅
- ・ 地域地質研究報告 (5万分の1図幅)  
国縫(札幌—59) 吉岡(秋田—88) 浅虫(青森—16) 塩竈(秋田—99) 長万部(札幌—48) 能代(青森—43) 四日市(京都—43) 御岳昇仙峡(東京—47) 石巻(秋田—90) 東京西南部(東京—63) 名古屋北部(京都—20) 宮崎(鹿児島—76) 姉崎(東京—76) 彦根西部(京都—17) 須磨(京都—61)
- ・ 海洋地質図  
No. 24 房総半島東方海底地質図(1:20万)(付説明書)  
No. 25 釜石沖表層堆積図(1:20万)
- ・ 日本水理地質図  
No. 33 徳島県吉野川下流域水理地質図(1:5万)
- ・ 活構造図(1:50万)  
新潟, 鹿児島, 札幌
- ・ 地質図目録図  
1984年版
- ・ カラーチャート(第2版)
- ・ 地質調査所年報 昭和57年度
- ・ 物理探査・調査研究一覽 第XXVI輯(昭和57年)
- ・ 外国雑誌総合目録
- ・ クルーズレポート  
No. 19 Geological Investigation of the Junction Area of the Tohoku and Ogasawara Arcs. April-June 1980 (GH-80-2 and 3 Cruises)
- ・ CCOP Technical Bulletin Vol. 16
- ・ 地質調査所月報 第34巻 第5号  
小野寺公児・大嶋和雄: 瀬戸内海東部海域の地形発達史  
徳橋秀一・檀原 徹・遠藤秀典・磯田邦俊・西村 進: フィッション・トラック法を用いた若い年代試料測定の試みと問題点——房総半島上総—  
下総層群中の火山灰層を対象として——  
講演要旨(第157回研究発表会 特集 東北日本弧太平洋岸の海域及び陸域の地質)
- ・ 地質調査所月報 第34巻 第6号  
粕 武・坂本 亨・安藤 厚: 茨城県中部地域における上部新生界堆積岩の全硫黄量と堆積環境  
垣見俊弘: 日本内陸の活断層と被害地震の地域的相関  
加野直巳・横倉隆伸・渡辺史郎: 地質調査所の反射法処理システム—会話型高速処理システム—
- ・ 地質調査所月報 第34巻 第7号  
脇田浩二: 岐阜県郡上八幡南西方のジュラ紀層にみられる異地性岩体と海底地すべり堆積物  
Shigeru TERASHIMA, Hiroshi YONETANI, Eiji MATSUMOTO and Yoshio INOUCHI : Sulfur and Carbon Contents in Recent Sediments and Their Relation to Sedimentary Environments
- ・ 地質調査所月報 第34巻 第8号  
大久保太治・角 清愛・山田當三・中村久由: 伊豆半島の地下温度構造  
佐藤興平・石原舜三: 甲府花崗岩体の帯磁率と化学組成  
講演要旨(第158回研究発表会) 岩国・柳井地域の領家変成岩について(中島 隆) 北海道浦河町のアルカリ質ランプロファイアの岩石学(久保和也・佐藤博之・大森貞子) 岩見沢周辺地域に産するせり器粘土について(丸茂克美・山口昇一・池田国昭・岡部賢二) 霞ヶ浦の湖底微地形について(村上文敏・木下泰正) 霞ヶ浦柱状試料からみた古環境(斎藤文紀) 霞ヶ浦湖底堆積物に残された水理環境変化の歴史(井内美郎・横田節哉・斎藤文紀)
- ・ 地質調査所月報 第34巻 第9号  
下川浩一・杉山雄一: 静岡県中部に分布する高草山層群の地質及び変成作用について

- 寺島 滋・石原舜三：日本の花崗岩類中の銅，鉛，  
亜鉛，ヒ素と硫黄——(1)北上山地と阿武隈高地  
——
- 玉生志郎・糟谷正雄：豊肥地熱地域のポーリング・  
コアのフィッシュン・トラック年代（その1）  
Abstracts of Papers Presented at the International Symposium on Geologic Evolution, Resources and Geologic Hazards
- ・地質調査所月報 第34巻 第10号  
菅谷正美・中尾征三：豊後水道海域の有孔虫群集  
吉田史郎：三重県四日市市周辺の扇状地・段丘——  
とくに中位段丘（御館・坂部段丘）の形成時期  
について——  
富樫茂子・松本英二：ベンゼン—液体シンチレーシ  
ョンによる<sup>14</sup>C年代測定法  
講演要旨（第160回研究発表会 特集 関東以西の  
“本州地向斜” —研究の現状と問題点）
- ・地質調査所月報 第34巻 第11号  
J. T. NANYARO, Shunso ISHIHARA, Hideo HIRANO  
and Akira SASAKI: Precambrian Granitoids  
from Two Areas in Western Tanzania: The  
Archean Bukoli Pluton and the Proterozoic  
Kate Batholith  
寺島 滋：溶媒抽出分離—原子吸光法による地質試  
料中の微量のカドミウムと鉛の定量  
石井武政・柳沢幸夫：利府花崗岩類の岩石記載とK  
-Ar年代  
山田宮三：ウルフネット上に断裂頻度分布図および  
共役断裂系を用いて主応力軸の方向を描く電算  
機プログラム
- ・地質調査所月報 第34巻 第12号  
小村良二：奈良県・和歌山県・福井県の瓦粘土の  
性質(1)——奈良県——  
古宇田亮一：ターミナル・エミュレータ“TSS45”  
と分散処理データ通信
- ・地質調査所月報 第35巻 第1号  
加藤 完・池田喜代治・楠瀬勤一郎・西沢 修：一  
軸圧縮過程の花崗岩から放出されるラドン濃度  
の変動
- Yasuo KANAZAWA: Synthesis and Lattice Cons-  
tants of Luzonite-Faminitite Crystals
- 柴田 賢・加藤祐三・三村弘二：甲府市北部の花崗  
岩類とその関連岩のK-Ar年代  
磯山 功・斎藤英二・渡邊和明・橋本知昌・山田直  
利：100万分の1日本地質図（第2版）から求  
めた各種岩石・地層の分布面積 付表：100万  
分の1日本地質図（第2版）の訂正
- ・地質調査所月報 第35巻 第2号  
尾上 亨：栃木県塩原産更新世植物群に関する研究  
（1）——小型（花粉・孢子）化石による古環境  
考察——  
森下祐一・松久幸敬：炭酸塩標準試料の炭素及び酸  
素同位体比の測定  
大森貞子：岩石及び鉱物中の主成分の蛍光X線分析  
法 第4報 酸化ランタン添加による高カルシ  
ウム試料中の二酸化けい素の定量  
久保和也・柴田 賢・佐藤博之：北海道浦河地域の  
ランプロファイアのK-Ar年代  
講演要旨（第161回研究発表会 特集 資源—炭化  
水素・海洋・金属・非金属）
- ・地質調査所月報 第35巻 第3号  
岸 和男・石井武政・永井 茂：岩手県安家石灰岩  
地域の水文地質——安家以北地区——  
小村良二：奈良県・和歌山県・福井県の瓦粘土の性  
質(2)——和歌山県——  
寺島 滋・石原舜三：日本の花崗岩類中の銅，鉛，  
亜鉛，ヒ素と硫黄——(2)西南日本内帯——
- ・地質調査所月報 第35巻 第4号  
金谷 弘・野沢 保・田結庄良昭：茨木複合花崗岩  
体の考察 2, 3の物理定数について  
鹿野和彦・吉田史郎：島根県中・東部新第三系の放  
射年代とその意義  
Shigeru TERASHIMA, Takashi YAMASHIGE and  
Atsushi ANDO: Determination of major and  
minor elements on the Six GSJ rock refer-  
ence Samples  
講演要旨（第162回研究発表会 特集 関東平野の  
第四系—堆積場と地殻変動）